

### 新成人おめでとう

～市内各地で成人式を開催～

1月3・4日、成人式が旧市町を単位とする9地区（牛深地区は昨年8月に実施済み）で開催され、合計967人の新成人が出席。本渡・有明・新和地区では、式典の企画・運営に新成人自らが実行委員として参加しました。倉岳地区の式典では、安田市長が「人生に夢と希望を持ち、自らの人生を切り開いてください」とあいさつ。新成人を代表して堀川史さんが「今日の感激を忘れることなく、成人者としての自覚を持って生きたい」と誓いの言葉を述べました。



▲式典終了後の茶話会で  
近況を報告し合う新成人（倉岳地区）

### ハンドボール女子熊本が全国3位に!

～JOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会～

各都道府県選抜チームで争う「第16回JOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会」が12月25日から同28日まで、大阪府堺市で開かれ、女子熊本が3位に入賞しました。熊本県選抜チームには本渡中学校から4人、稜南中学校から2人、五和西中学校から1人の生徒が選ばれ、県代表として活躍。主将を務めた稜南中学校の濱由美香さん(3年)は「全国制覇できず悔しかったですが、中学校生活で1番の思い出になりました」と話していました。



▲見事、全国3位となった  
ハンドボール女子熊本の選手の皆さん

### 茗明高校郷土芸能部が初の県代表に!

～県高校郷土芸能・吟詠剣詩舞発表会～

12月16日、「第18回県高校郷土芸能・吟詠剣詩舞発表会」が八代市で開かれ、茗明高校郷土芸能部が「天草ハイヤ」を披露し、最優秀賞に輝きました。

同部の1・2年生の部員は25人。8月9・10日に群馬県で行われる全国大会への切符を、創部8年目で初めて手にしました。部長の高松愛弥さん(2年)は「今までで最高の踊りを披露できました。皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、日本一を目指します」と意気込みを語っていました。



▲最優秀賞に輝き全国大会出場を決めた  
茗明高校郷土芸能部の皆さん

### 消防団員が訓練の成果披露!

～消防出初式～

新春恒例の「消防出初式」が1月6日、本渡運動公園陸上競技場で行われ、消防団員ら約1,200人が参加しました。出初式では、整列隊形や規律などの通常点検や、地上20mのところに設置されたかごの中のボールを落とす放水競技などが実施され、日ごろの訓練の成果を披露。また、昨年10月に発足した本市初の女性消防団員13人も、堂々とした行進を披露しました。なお、通常点検では御所浦方面隊が、放水競技では倉岳方面隊が優勝しました。



▲放水競技に臨む消防団員。  
日ごろの訓練の成果を披露しました

### 健康で幸多い1年でありますように

1/6

～一町田八幡宮寒もうで～

河浦

1月6日の小寒から3日間、毎年恒例の「寒もうで」が一町田八幡宮で行われました。この寒もうでは90年以上続けられているもので、まだ辺りが真っ暗な早朝5時45分、田代主基男・宮司の吹くホラ貝が響き渡ると、境内には「今年も健康で幸多い1年でありますように」と祈願する地元の子どもからお年寄りまで約50人が集合。おはらいの後、「よいさ。よいさ」のかけ声で天突き体操や魯こぎ体操をして冷えた体を温めていました。



▲掛け声とともに魯こぎ体操で体を温める参拝者

### たわわに実ったミカンに大喜び

1/13

～ミカンの木 オーナー制度収穫祭～

有明

1月13日、ミカンの木のオーナー制度に取り組み大浦地区振興会が、オーナーを招いて収穫祭を開催しました。

当日は、オーナーとその家族など約200人が参加し、契約した木にたわわに実ったミカン(不知火)の収穫を楽しみました。オーナーの皆さんは、「この日を心待ちにしていました。たくさん収穫できて良かったです」とご満悦。また、大浦公民館船津分館一帯では、大浦獅子舞の披露や、タコ飯やだご汁などの郷土料理もふるまわれました。



▲契約した木に実ったミカン  
ていねいに収穫するオーナーの皆さん

### 地域でつくり上げた伝統の祭り

1/13

～えびす祭り・えびすマラソン大会～

倉岳

1月13日、えびすマラソン大会とえびす祭りが、えびす像公園一帯で開催されました。マラソン大会には県内外から753人が参加。えびす様や約700枚の大漁旗に見守られながら、さわやかな汗を流しました。祭りでは、漁船100隻による海上パレードや宮田小学校・倉岳中学校の児童・生徒らによる「えびす太鼓」「宮田棒踊り」などが行われたほか、福を呼び込む鯛の当たり券つきの「福餅投げ」もあり、今年1年の安全をえびす像にお祈りしました。



▲えびす祭りでは「宮田棒踊り」も披露されました

### 伝統の町内一周駅伝で健脚を競う

1/13

～新和町一周駅伝大会～

新和

1月13日、「第44回新和町一周駅伝大会」が行われ、17チームが参加しました。この大会は、成人を祝う行事として青年団が始めた伝統ある大会で、合併後の昨年からは新和まちづくり協議会の主催で実施。町内を半周する10区間23.9kmのコースで、選手たちは沿道の声援に応えながら健脚を競いました。レースは、中・高校生が充実した下大多尾SCがスタートで出遅れたものの、中盤の6区で首位に立ち、大差を付けて3年ぶりの優勝を飾りました。



▲1区の中学生ランナーが元気よくスタート!